

# まちづくり交付金 事後評価シート

## 福岡都心部地区

平成19年12月

福岡県福岡市

## 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡都心部地区	
計画期間	平成17年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成17年度～平成19年度			
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成19年4月～平成20年1月	フォローアップ実施時期	平成20年7年～平成20年10月	
1)事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	○街路(桜坂桧原線外1線、博多駅六本松線) ○道路(市道千代今宿線、市道警固今泉線、市道赤坂826・835線) ○地域創造支援事業(自転車対策事業、天神社会実験、ピンクチラシ・不法看板等除去、ストリートパフォーマンス) ○事業活用調査				
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	○道路(街路:2件→4件 延長=1,600m→2,305m、道路:4件→11件 延長=1,705m→2,807m) ○地域生活基盤施設(自転車駐車場、都市サイン、路面冠水標示システム) ○高次都市施設(公民館:0→2ヶ所) ○土地区画整理事業(渡辺通駅北地区:0ha→2.5ha) ○地域創造支援事業(5件→13件 ※まちめぐりナビゲーション、地図案内サイン等) ◇事業の追加に伴い、区域を拡大(598ha→985ha)				
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	○道路、地域生活基盤施設、高次都市施設、土地区画整理事業: 都市再生整備計画策定後に具体化し、計画の目標に整合した事業を追加・変更(目標・数値指標への影響なし) ○地域創造支援事業: 前年度の社会実験等の結果を受けた本格的な事業実施への転換による事業の追加や、都市再生整備計画策定後に具体化し、計画の目標に整合した事業を追加・変更(目標・数値指標への影響なし)				
2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	モニタリング	達成度	達成見込みの有無	効果発現要因
	自転車放置率(天神)	%	—	○	あり	総合所見
	自転車放置率(博多駅周辺)	%	—	△	なし	自転車駐車場の整備、自転車利用に関するモラル改善等への取り組みにより、放置自転車率が減少した。
	主要地点の歩行者数	人	—	○	なし	博多駅改修工事の影響による駐輪容量の減少を放置台数から差し引くと、十分に目標値を達成することが見込まれる。
	指標3 「歩くのが楽しい街」と感じる来街者の割合	%	—	△	●	歩道の整備やバリアフリー化、天神での継続的なイベント開催等の取り組みにより、歩行者数が増加した。
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	基準年度	從前値	数値	効果発現要因
	その他の数値指標1 (指標4 都市の美しさ評価の代替)	%	—	—	モニタリング 63	総合所見
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	・天神ピクニックやストリートパフォーマンス等のにぎわいを演出する取り組みにより、都心部の新たな楽しみが創出され、来街者に対する街の魅力が向上した。 ・まちづくり活動を行う組織の設立により、市民のまちづくりに対する意識が向上した。					ピンクチラシや不法看板の撤去等の取り組みに対する市民の評価も高く、都心部の街がきれいになったと感じる人の割合が増加した。
5)実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング	自転車放置率の調査を実施	● 予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	今後も同様に継続していきたい。
	住民参加プロセス	公民館・老人いこいの家複合施設整備に伴い建設準備委員会を開催	● 予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	今後も同様に継続していきたい。
	持続的なまちづくり	都心部まちづくりに取り組む活動組織の構築 (We Love 天神協議会、博多駅地区まちづくり推進組織準備会)	● 予定どおり構築できた(We Love 天神協議会、博多駅地区まちづくり推進組織準備会)	● 予定していなかったが構築した(博多の水辺協議会準備会)	予定したが構築しなかった・できなかった	今後も同様に継続していきたい。

## まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

### 福岡都心部地区(福岡県福岡市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	「おもてなしの都市・福岡」にふさわしい快適で魅力あふれる都心づくり	まちづくり交付金の代表的成果	自転車放置率(天神) (単位:%)	69%(H13) → 66%(H14) → 14%(H19)
			主要地点の歩行者数 (単位:人)	-(H13) → 63,223人(H16) → 69,328人(H19)
			「歩くのが楽しい街」と感じる人の割合 (単位:%)	-(H13) → 46%(H16) → 55%(H19)



#### 都市機能の集積と充実・強化を図る事業



#### 交流拠点都市にふさわしい都心部のにぎわいや魅力を引き出す事業

##### ■道路事業



葉院駅前の歩道整備

##### ■都心拠点まちづくりの推進(天神)



天神ピクニック  
の実施

##### ■ストリートパフォーマンス



警固公園等でのパフォーマンス

##### ■地図案内サイン など

##### ■まちめぐりナビゲーション



通り名の  
看板設置

##### ■博多の水辺空間魅力創出事業



リバー  
ピクニック  
の開催

#### 快適で歩きやすい都市空間の実現を図る事業

##### ■道路事業



自転車と歩道の完全分離

##### ■自転車対策事業



放置自転車ZERO宣言!

##### ■貼り紙防止事業 など

##### ■自転車駐車場



天神中央  
公園駐輪  
施設整備

##### ■都心拠点まちづくりの推進(天神)



天神ピクニック  
おしゃり  
ロードの実施



不法看板の  
除去作業

#### 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

#### ○九州・アジア新時代にふさわしい魅力あふれるにぎわい交流拠点都市の実現

- ・天神地区においては、ストリートパフォーマンスや歩行者対象のイベントの開催など、更なるにぎわいの創出とともに、地区の持続的な発展を目指す。
- ・博多駅周辺地区においては、九州新幹線全線開業に伴い、周辺地区を含めたエリアマネジメント組織を中心として、九州の玄関口にふさわしい魅力ある都市拠点の形成を目指す。
- ・また、その他の地区においても水辺や緑地など地域の特性を生かして、市民や来街者でにぎわうまちづくりを目指す。

#### ○安全・快適に移動ができる都心部の実現

- ・放置自転車対策については、これまでの取り組みにより主に天神地区で一定の効果を上げているが、今後はその他地区においても同様の取り組みにより、快適な歩行者空間の実現を図る必要がある。
- ・また、都心部においては、道路のバリアフリー化を図る必要のある路線が多数残っていることから、ひきつづき取り組んでいく必要がある。

#### ○都心部居住における地域コミュニティの形成

- ・都心部への居住を促す、文化の育成や地域コミュニティ形成への支援を図る必要がある。
- ・渡辺通駅北土地区画整理事業や都市計画道路、生活道路の整備を行い、生活環境の保全・向上を図るとともに、都市機能の集積と充実を図る必要がある。

#### ○環境と共生する都市の実現(いこい空間の創出)

- ・都心部の緑地保全や温暖化対策など、良好な都市環境の維持、改善を図るとともに、人がやすらげる、いこい空間の創出を目指す。

※福岡都心部地区は二期計画を策定することにしており、二期計画において、上記のまちづくり方策に取り組んでいくこととする。